京都府 報道発表資料

丹後広域振興局　資料配付

令和８年１０月２２日

# 丹後震災 100 年を契機とする地震対策を推進します

1927 年３月７日に発生し丹後地域に未曽有の被害をもたらした丹後震災から 100 年となることを契機に、一層の地震対策を推進するため、防災活動の啓発、講演会及び避難訓練を実施しますので、周知及び取組の取材について、よろしくお願いします。

## １　防災活動の啓発

・取組概要

丹後震災を教訓に、地震対策、ハザードマップや避難経路の確認など、災害時に備える行動を促進するため、管内の経済団体・福祉団体等へ啓発チラシを配布する。

団体又は個人で防災活動に取り組んだ際には「＃丹後震災 100 年」をつけ SNS 等で発信し、広くアピールする。（振興局や市町の広報ツールでも発信）

また、各団体で防災訓練を行う際には、振興局からアルファ化米を提供する。（1000 食、先着順　問合せ先は丹後広域振興局総務防災課）

・協力依頼先

丹後管内の各自治会、商工会・商工会議所、福祉施設等

## ２　防災講演会

・防災講演会「命を守る私たちの備え～丹後震災 100 年を迎えて～」

東日本大震災をきっかけに避難訓練を繰り返し、能登半島地震発生時には「何かあったら集会所へ」を合言葉に住民全員が助かった石川県珠洲市の区長をお招きし、日頃の備えの大切さを講演いただく。

日時：令和８年１２月１３日（日）午後１時３０分～３時

場所：アグリセンター大宮　多目的ホール

ゲスト：石川県珠洲市三崎町寺家下出地区　区長　出村正廣氏

コーディネーター：福知山公立大学公共政策学部　准教授　大門大朗氏

対象者：自治会長、区長、地区役員、防災士、消防団員など

## ３　避難訓練

・丹後地域一斉シェイクアウト訓練

丹後震災 100 年となる日に、管内一斉にサイレンを吹鳴し、安全確認行動とともに避難経路・備蓄品の確認、安全な場所（高台）への避難などを呼びかける訓練を実施する。

日時：令和９年３月７日（日）午前９時

共催：宮津市、京丹後市、伊根町、与謝野町

【本報道発表に関するお問合せ】
丹後広域振興局総務防災課　課長　谷口　　電話 0772-62-4301







# 丹後震災100年

1927年3月7日18時27分発生した「丹後震災」は、京丹後市「郷村断層」を震源とするマグニチュード7.3の大地震でした。
死者2,925名、住宅全壊12,584棟と丹後全域が大きな被害を受けました。
来年3月7日に発生から100年を迎えますが、地震はいつどこで起こるか分かりません。
地震に備え、日頃から訓練や安全確認などを行いましょう。

どなたでも防災訓練や安全確認などを行った際には
**#丹後震災100年**を付けてSNSなどにぜひ投稿してください！

## 丹後地域一斉シェイクアウト訓練

**2027年3月7日（日）9時～**
丹後地域全域で一斉にサイレンが鳴ります
安全確認行動（姿勢を低く、頭を守る、動かない）や
避難経路の確認、備蓄品の確認しましょう！
※2月頃に各市町の広報誌やチラシでお知らせする予定です。




**地震に備えよう！**

地震対策として家具の固定などが重要です。
「たおれる・うごく・おちる・われる・とぶ」を防ぐことを意識しましょう。

食料や飲料水は3日分（できれば7日分）を備蓄しましょう。
賞味期限などがあるためローリングストックが有効です。
トイレが使えない場合も想定して、携帯トイレやトイレットペーパー、電源確保のためのバッテリーなどもそろえましょう。

京都府丹後広域振興局総務防災課　Tel 0772-62-4301